

平成26年医療施設（静態）調査における オーダーメイド集計を行う際の仕様について

オーダーメイド集計の利用を希望する方は、この仕様に基づき「統計表作成仕様書」（様式第2号）を作成の上、「委託申出書」（様式第1号）等と一緒に窓口へ提出してください。

1 調査年次

平成26年分の調査データが利用可能です。

2 集計に使用するデータ

上記調査年次のデータのうち、活動中の施設についてのデータです。

※活動中の施設とは、全国の医療施設のうち、休止・1年以上休診中の施設を除いた施設をいう。

3 集計対象項目

集計対象項目は次のとおりです。

○病院票

- ・施設数
- ・病床数（許可病床数、特殊診療設備、緩和ケア病棟）
- ・患者数（特殊診療設備、検査等の実施状況、緩和ケア病棟、緩和ケアチーム、放射線治療の実施状況）
- ・設置台数（検査等の実施状況、手術等の実施状況、放射線治療の実施状況）
- ・実施件数（在宅医療サービスの実施状況、手術等の実施状況）
- ・従事者数（診療科目別医師数、院内感染防止対策の専任担当者、分娩取扱従事者）

○一般診療所票

- ・施設数
- ・病床数（許可病床数）
- ・患者数（検査等の実施状況、放射線治療の実施状況）
- ・設置台数（検査等の実施状況、手術等の実施状況、放射線治療の実施状況）
- ・実施件数（在宅医療サービスの実施状況、手術等の実施状況）
- ・従事者数（分娩取扱従事者、従事者数）

○歯科診療所票

- ・施設数
- ・実施件数（在宅医療サービスの実施状況、インプラント手術の実施状況）
- ・病床数（許可病床数）
- ・従事者数

4 結果の表章及び秘匿処理について

- ・分類一覧の各項目について集計を行い、表章は実数とします。
- ・数値が存在しない場合は、「－」と表章します。
- ・集計数値から医療施設や人物が特定される恐れがある場合は、各集計数値を秘匿します。

5 オーダーメイド集計提供項目

- ・利用可能な集計区分は、集計対象項目ごとに分類一覧に示す区分となり、集計区分の組み合わせ（ク

ロス数)は合計が3次元までとなります。ただし、「病床の規模」(病院票)、「病床の有無」(一般診療所票)及び「診療科目(重複計上)」(病院票及び一般診療所票)を含む組み合わせの場合は5次元まで可能となります。

調査票の種類毎に利用可能な集計区分は以下のとおりです。

○病院票

3次元以下： 分類一覧の3項目以下

4次元： 分類一覧の病床の規模以外の3項目×病床の規模
分類一覧の診療科目(重複計上)以外の3項目×診療科目(重複計上)

5次元： 分類一覧の病床の規模/診療科目(重複計上)以外の3項目×病床の規模×診療科目(重複計上)

○一般診療所票

3次元以下： 分類一覧の3項目以下

4次元： 分類一覧の病床の有無以外の3項目×病床の有無
分類一覧の診療科目(重複計上)以外の3項目×診療科目(重複計上)

5次元： 分類一覧の病床の有無/診療科目(重複計上)以外の3項目×病床の有無×診療科目(重複計上)

○歯科診療所票

3次元以下： 分類一覧の3項目以下